

廃試薬申込み時の注意事項兼確認書

環境安全管理室

廃試薬の処分を申込みの際は下記事項及び別紙の廃試薬のリスト化手順を熟読・確認の上、申込みください。

【回収できない廃試薬】

- ☐ 不明物や実験廃液等の内容物の種類や濃度が不明確なものは受け付けられません。排出者側で内容物を明らかにした上で申込みをお願いします。
- ☐ 放射性物質、麻薬・覚醒剤類、ガス、化学兵器・サリン等については、法律上回収できません。
- ☐ 圧縮ガス、液化ガスおよびスプレー缶等は受け付けられません。ガスボンベ・スプレー缶等に入ったガス状の廃棄物は法律上、産業廃棄物処理業者(産廃業者)では処分することができません。ガスボンベの処分については納入業者にご相談ください。スプレー缶等の処分は中身を使い切り容器に穴を開けた後、(1)不燃ごみとしてエコステーションに出すか、または(2)固形廃棄物(金属くず等)として申込みをお願いします。
- ☐ 容器や蓋にひびや割れなど、運搬時に漏えいの恐れのあるものは受け付けられません。別の容器に移すか、丈夫なビニール袋などのより大きな容器等に入れ密封し、運搬中の漏れ等の支障・事故が生じないよう措置した上で申し込むようお願いいたします。なお、破損箇所をパラフィルム、ラップ又はビニールテープ等により覆っただけでは再度漏れが生じることから回収できませんので、ご注意ください。
- ☐ 経費削減のため、原則として揮発性の高い有機溶媒は 10L ポリ容器に移し、別途廃液(一般有機廃液又は含ハロゲン廃液)として申込をお願いします。その際、空の試薬瓶はルールに従い廃棄をお願いします。

【その他注意事項】

- ☐ 廃試薬の処分過程では産廃業者が手作業で試薬瓶を取り扱います。作業者に薬傷事故等が無いように配慮ください。特に素手で容器に触れられないほど粉が吹いていたり、内容物等で湿っていたりする容器は、搬入前に拭き取るなどの処置をお願いします。
- ☐ 処分作業の妨げになりますので、ラベルが劣化して触っただけで剥がれ落ちる場合には、あらかじめ内容物名を明記したシールを貼付するなど対応をお願いします。
- ☐ 自然発火性、爆発性、ガス発生性など特に注意を要する危険性の高い試薬は、予め容器に分かるように印をつけるなどの配慮をお願いします。
- ☐ 薬品管理システムや受払簿で管理をしている試薬については、廃棄処理など在庫管理処理をお願いします。
- ☐ 残量をよく確認し、中身が空の試薬瓶はルールに従って処分をお願いします。残量が極微量の場合は固形廃棄物(廃プラスチック又は廃ガラス)として処分可能な場合がありますので、別途ご相談ください。

申込後、内容を確認の上、環境安全管理室より回収日をお知らせしますので、指定場所に搬入をお願いします。搬入時にチェックし、上記に該当する回収できない試薬等につきましては排出者へ返却いたします。

上記(□にチェック)およびリスト化手順について確認いたしました。

令和 年 月 日

指導教職員サイン

※教職員がサインした上、搬入日当日にお持ちください。